

MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社

広報・IR部 〒104-0033 東京都中央区新川 2-27-2
TEL：03-5117-0270(代表)
www.ms-ad-hd.com

MS&AD
INSURANCE GROUP

2022年12月8日

～自然環境の保全・再生等で社会課題を解決する～
**「MS&ADグリーンアースプロジェクト」第二弾、
宮城県南三陸町で藻場の再生・拡大によるブルーカーボン取組みを開始**

MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社（取締役社長 グループCEO：原典之）は、今年度から開始したグループ社員による環境取組「MS&ADグリーンアースプロジェクト」を通じて、自然環境の保全・再生等により社会課題を解決する「グリーンレジリエンス」を推進しています。

本プロジェクトでは、従来から取り組んできた植林活動や水辺の保全活動に加えて、新たに東北・関東・九州地方の国内3ヶ所を自然環境の保全・再生のための活動場所に定めており、第二弾として、宮城県南三陸町で藻場の再生・拡大を行います。これにより、アマモ^{※1}等の海藻が吸収した二酸化炭素である「ブルーカーボン^{※2}」のクレジット化を目指します。

MS&ADインシュアランスグループは、中期経営計画において「地球環境との共生（Planetary Health）」を重点課題の一つに掲げ、気候変動への対応、生物多様性を含む自然資本の持続可能性向上に取り組んでいます。本プロジェクトを通じて、さまざまなステークホルダーと協働し、自然が持つ多面的な機能を活かしたレジリエントで持続可能な社会の実現に貢献していきます。

※1：砂や泥の海底に生える海草の一種。花を咲かせ種子によって繁殖する。

※2：2009年に国連環境計画（UNEP）によって命名された「藻場・浅場等の海洋生態系に取り込まれた炭素」のこと。

1. 南三陸町におけるブルーカーボン取組みの概要

- 宮城県北東岸にある志津川湾で減少した藻場の再生・拡大を進め、アマモ等の海藻による炭素吸収で「Jブルークレジット[®]認証^{※3}」を目指します。
- 藻場の再生・拡大では、南三陸町立自然環境活用センターや一般社団法人サステナビリティセンターと協働します。また、東北大学とも連携し、環境DNA技術を用いて藻場の拡大による生物多様性の向上を分析します。
- 海での活動に加えて森や里の保全にも取り組み、ボランティア活動を通じて、南三陸町が進める森・里・海における自然の循環を活かしたまちづくりを支援します。

※3：JBE（ジャパンエコノミー技術研究組合）がブルーカーボン活用プロジェクトを対象に発行・販売しているカーボンオフセット・クレジット。



左：活動予定場所（干潟）

上：海中で繁茂するアマモの様子

2. 背景と目的

南三陸町は、川の源流から海までを町域としており、ラムサール条約登録湿地である志津川湾では漁業が盛んです。持続可能な養殖場の証しである「ASC認証」を日本で初めて取得し、生態系や人権に配慮した林業における「FSC認証」を取得するなど、環境に配慮した産業を推進してきました。一方で、東日本大震災の被害や全国的に進む磯焼け^{※4}の影響による藻場の減少が認められ、藻場の回復が課題となっています。

当社は、南三陸町が進める自然の循環を活かしたまちづくりと新しいブルーカーボンへの挑戦に賛同し、地域の課題解決に貢献すべく本取組みの開始を決定しました。

※4：藻場で海藻が著しく減少・消失し、海藻が繁茂しなくなる現象。

【ご参考】「MS&ADグリーンアースプロジェクト」の4つのテーマ

- (1) 自然環境の保全・再生による防災・減災と地方創生
 - 湿地、里山、藻場などの保全・再生活動を各地の行政やNPO等と協業し推進します。
 - 植林等を通じた自然環境の保全・再生により、自然が有する防災・減災の機能回復や脱炭素、雇用機会の拡大等を図り、社会課題の解決に繋がります。
- (2) ペーパーレスによる環境負荷低減
- (3) 電力やガソリン利用の抑制による環境負荷低減
- (4) 廃棄物削減による持続可能な資源の利用

以 上